

## 平成29年度青森市指定管理者選定評価委員会（モニタリング調査）会議概要

- 1 日 時 平成30年3月26日（月） 14:00～
- 2 場 所 青森市小牧野遺跡保護センター
- 3 対象施設 青森市小牧野遺跡保護センター
- 4 出席者
  - (1) 青森市指定管理者選定評価委員会  
委員長 横内 修（市民政策部理事次長事務取扱）  
副委員長 加藤 文男（総務部理事次長事務取扱）  
委員 森 宏之（青森大学教授）  
委員 佐々木 信一（東北税理士会青森支部税理士）  
委員 加福 理美子（市民生活部次長兼行政情報センター所長）
  - (2) 指定管理者（一般社団法人 小牧野遺跡保存活用協議会）  
代表理事 竹中 富之
  - (3) 施設所管課（教育委員会事務局文化財課）  
主 幹 児玉 大成  
主 査 里村 真吾
  - (4) 制度所管課（市民政策部政策推進課）  
主 幹 高野 新  
主 査 小笠原 誉史  
主 事 畑井 裕樹
- 5 案 件 青森市指定管理者選定評価委員会によるモニタリング調査
- 6 会議概要 委員長及び出席委員が、指定管理者及び施設所管課に対してヒアリング及び実地調査を行い、施設の管理運営状況について評価を行った。

■施設所管課によるモニタリング等の評価結果について

(委員)

管理保守点検業務の実施や、利用者からの要望の取扱いについては、随時担当課に報告がなされているということですが、定期的な打合せは行っているのか。

(施設所管課)

打合せに関しては、少なくとも2週間に1回行っている。

その中で管理運営やイベントに関する打合せを行っているほか、年1回、文化財課が所管する指定管理者を集めて勉強会を行っている。

(委員)

昨年の評価結果で「来場者数が年間目標1万人に対して1万5千人以上が訪れている」という評価を受けているが、小牧野遺跡保護センターの方で来場者が年々増え、遺跡の方は横ばいとなっている理由は何か。

(施設所管課)

来館者には遺跡のことを理解してもらうため、遺跡を見に行く前に小牧野遺跡保護センターで学習してもらうようにしており、そのことから、小牧野遺跡保護センターの方で満足される方も結構多く、リピーターも多くなっている。

■協定書、仕様書、事業計画書及び事業報告書について

(委員)

応募時の提案において、年4回発行するとしている「小牧野遺跡だより」や、フリーペーパー等へのイベント情報の掲載については計画どおり行われているのか。

(施設所管課)

「小牧野遺跡だより」については、年4回発行している。フリーペーパーへの掲載には至っていないが、タウン誌などには多数掲載されている。

(委員)

年度途中で数回、自主事業を追加しているが、年度当初の事業計画に組み込めないものなのか。

(施設所管課)

指定管理者が自主事業を行うためには、財源を確保しなければならないが、助成金や補助

金については、申請中や申請予定のものがあって、交付決定を受けていないものは組み込んでいない。

また、協定書の中でも自主事業については市の承認を受けることになっているため、協議してもらった上で承認している。

(委員)

これまで指定管理業務を行ってきた、何らかの改善をしてきたことがあると思うが、これは改善できたということはあるか。

また、逆にこれはやりたいと思っているが、まだ実施できていないことなどはあるか。

(指定管理者)

来館者の記念に残るようなものが最初はなかったため、記念スタンプや顔はめパネルを製作した。また、子供向けの館内図や学習シートを作成した。

やりたいと思っていることは、学術的な知識をアップしていかなければならないと感じており、一生懸命勉強しているところである。

(委員)

アンケートの意見等で改善している点があるのであれば、施設に掲示するなど周知してもらいたい。

(指定管理者)

ホームページではお知らせしているが、来館者に向けた周知も図っていききたい。